



スロベニア共和国とのホストタウン交流について

資料2-5



福井県福井市

【スロベニア共和国を相手国とした理由】

本市は、昨年12月11日に、スロベニア共和国を相手国として、ホストタウン登録を受けました。本市とスロベニア共和国との共通点として、「そば」と「水仙」があります。



スロベニア そば料理



福井のおろしそば

そばについては、スロベニア共和国、本市とも、習慣的に食べる文化が根付いています。

次に、水仙について、スロベニア共和国の北部では、水仙が群生しており、毎年5月に水仙祭りが開催されています。

また、本市の越前海岸は、水仙の日本三大群生地のひとつとして知られており、毎年1月には水仙まつりを開催しています。



スロベニアの水仙



福井の越前水仙

これらの共通点がスロベニア共和国と本市とを結びつけるきっかけとなり、ホストタウン登録を行うこととなったものです。

【スロベニア共和国との交流経過】

昨年12月8日、9日に、スロベニア共和国のシモナ・レスコヴァル大使を本市に招へいし、事前キャンプの際に必要なとなる体育施設や宿泊施設等を視察していただくとともに、一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園等、本市が誇る歴史文化や食など、本市の魅力にも触れていただきました。



スロベニア共和国大使招へい



スロベニア語での歓迎出迎え

今年4月17日～18日には、事前キャンプ誘致のため、スロベニア共和国のバスケットボール連盟の会長をはじめ5名の方々を本市へ招へいしました。

体育施設や宿泊施設を視察いただいたところ、高い評価をいただきました。



小学生とハイタッチ

連盟の方々の来訪にあわせ、小学校児童による歓迎出迎えを行いました。子ども達はスロベニア語で挨拶し、質問タイムでは、連盟の方々の見上げるような身長について質問していました。連盟の方々と子ども達とのハイタッチ等を通じて、和やかなムードに包まれました。



高校でのバスケットボール指導①



高校でのバスケットボール指導②

また、交流事業として、本市の高校で、連盟の事務局長の方に、攻撃面のアドバイス・実技指導を行っていただきました。生徒からの質問タイムでは、アメリカのNBAで、共にプレーした選手についてエピソードなどを紹介していただき、生徒達は大いに盛り上がっていました。また、NBAでも基礎練習を非常に重視していることを教わり、生徒達はその重要性を改めて認識していました。

連盟の方々にリラックスしていただけるよう、「食」でのおもてなしに配慮しました。ホテルでは、料理人の方が、京都のスロベニア料理店を予め訪問して、勉強した上で、合宿時をイメージした料理を昼食として提供しました。

また、夕食のレストランでは、スロベニア産のベーコンと福井の甘エビを使用した料理やスロベニア産ワインを準備し、連盟の方々にくつろいでいただけるよう配慮しました。

【市民への周知】

市政広報誌への掲載や市役所市民ホールでのパネル展示等、図書館での紹介ブース設置など、市民の理解を深めるため、スロベニアの紹介に取り組み始めたところです。

5月26日には、本市において多文化共生イベント「グローバルフェスタ」を開催し、スロベニアの紹介ブースを設けて、来場者にスロベニアの情報に触れていただきました。



市役所ホールにコーナー設置



図書館にコーナー設置

【今後の展開】

本格的な取組はこれからとなりますが、スポーツのみならず、教育や文化等の分野についても交流していきたいと考えています。

スポーツでは、事前キャンプの受け入れや、パブリックビューイングによるスロベニア共和国の応援、また選手の来日に合わせた子ども達へのスポーツ指導教室の開催等を想定しています。

また教育分野では、学校で、スロベニア共和国について学習する機会や、給食時におけるスロベニアのメニューの提供を検討中です。

文化交流では、本市との共通点であるそばや水仙を切り口としたスロベニア共和国のPR展や友好のシンボル育成等を検討していきます。

これらの取組を通じて、市民レベルでの交流を深めていくことが重要であると考えています。



グローバルフェスタでの周知活動